

# NPO・地元企業と連携した 地域力循環型キャリア教育 (CLC)プログラム

## Career learning in Local-power Circulation

聖泉大学人間学部 有山 篤利



### 人間学部のキャリア教育のテーマ

**挑 戦 力**

- ・ 厳しい経済状況
- ・ 学生の特徴

具体的な方法

**学外との交流**

- ・ 建学の精神  
(地域の大学)
- ・ 地域の要請



## CLCプログラムのねらい

Career learning in Local-power Circulation

### ねらい

「挑戦力の育成」・「人材の地域還元」

### 目的

「厳しい環境に対し、粘り強く、主体的に取り組む力を持った学生の育成」

「地域で人材を育て地域に還元していくシステムの構築」

### 最終目標

「地域の大学が発信する、地域活性化と結び付いたキャリア教育モデルの提案」



## CLCプログラムの背景

地方の小規模大学がやるべきこと  
" だからこそできること

エリアの活性化  
を担う人づくり

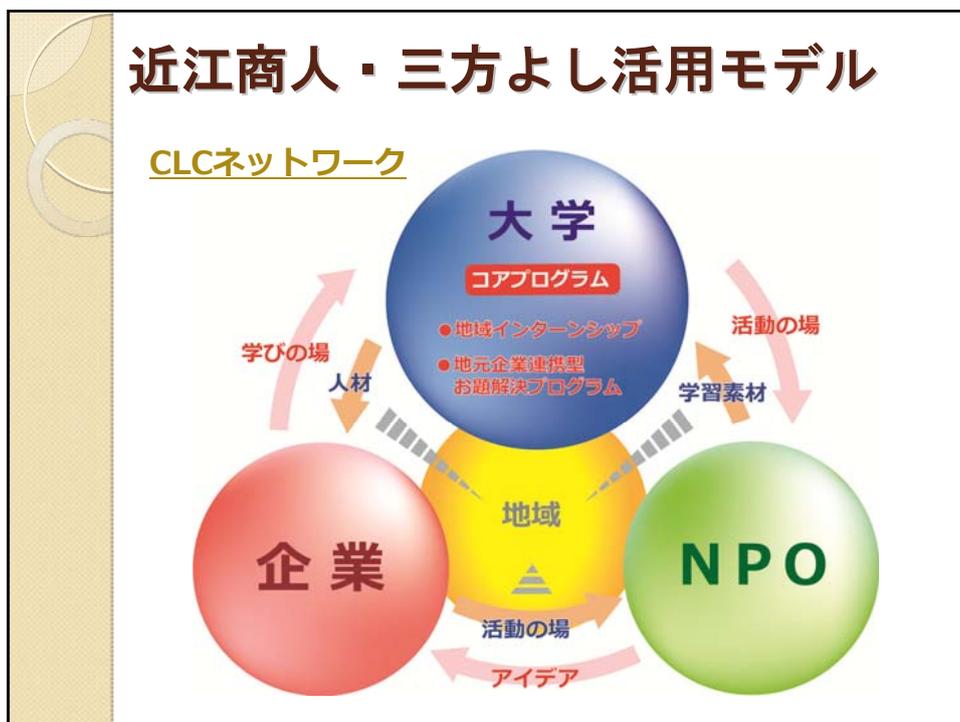
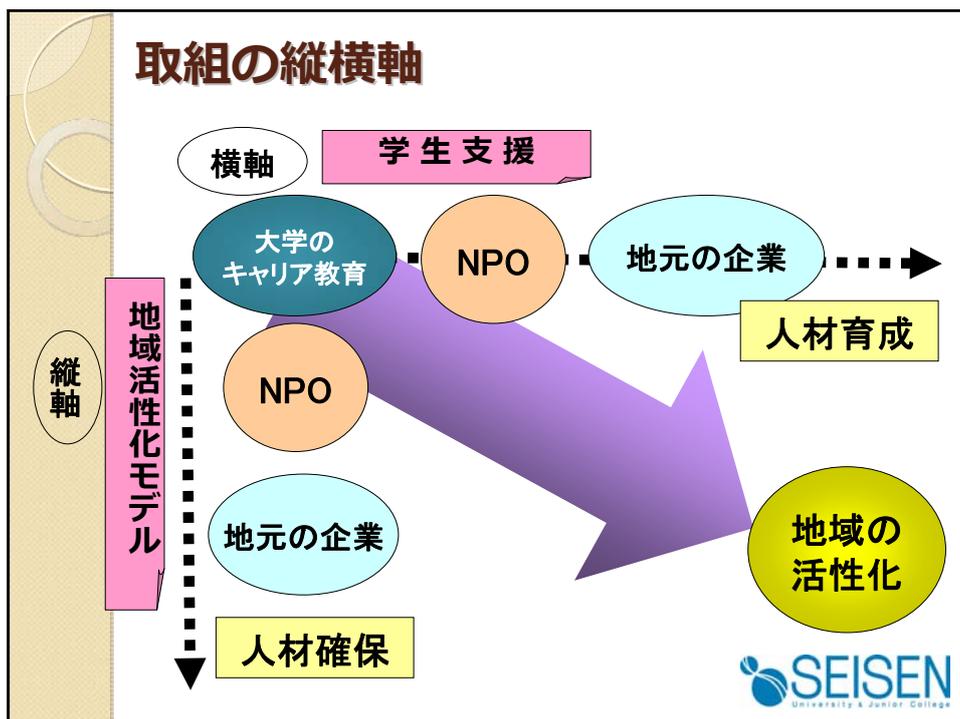
人をつくる  
システムづくり

大学教育の限界

大学内で完結する  
キャリア教育の限界

学生を学外と  
交流させる  
システムづくり





## CLCネットワーク

CLCプログラムを推進する枠組みであり、その趣旨に賛同する企業・団体・個人等の総体（学生を育む母体）

- ◆キャリア教育の素材（地域の課題）を提供する
- ◆講師などの人材を提供する
- ◆学習の場を提供（インターンシップ等）する
- ◆学生の研修会・セミナー等への参加機会を提供する
- ◆CLCに関する広報について協力をする
- ◆CLCを評価する



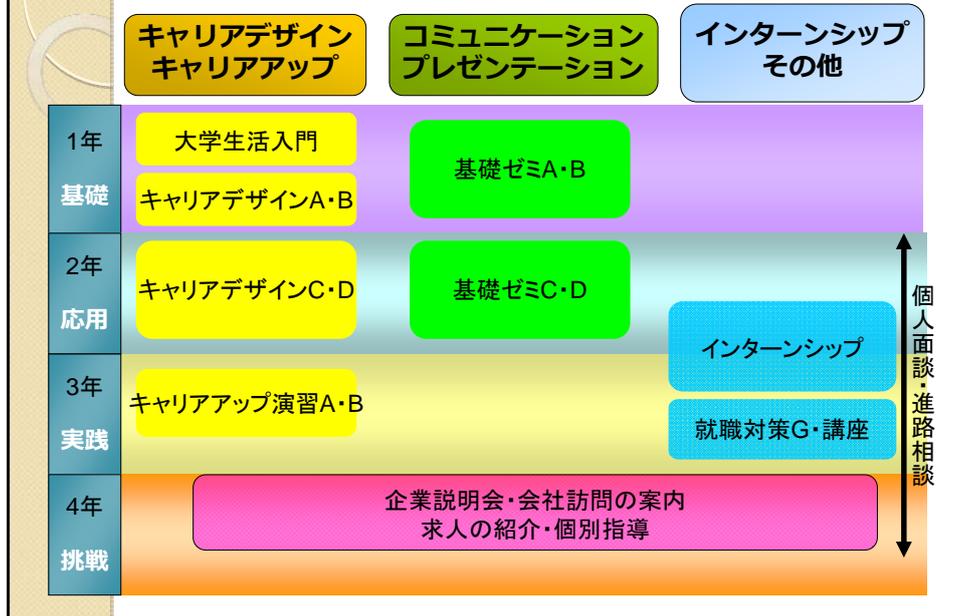
## CLCプログラムの特徴

### ◆CLCプログラムの性格

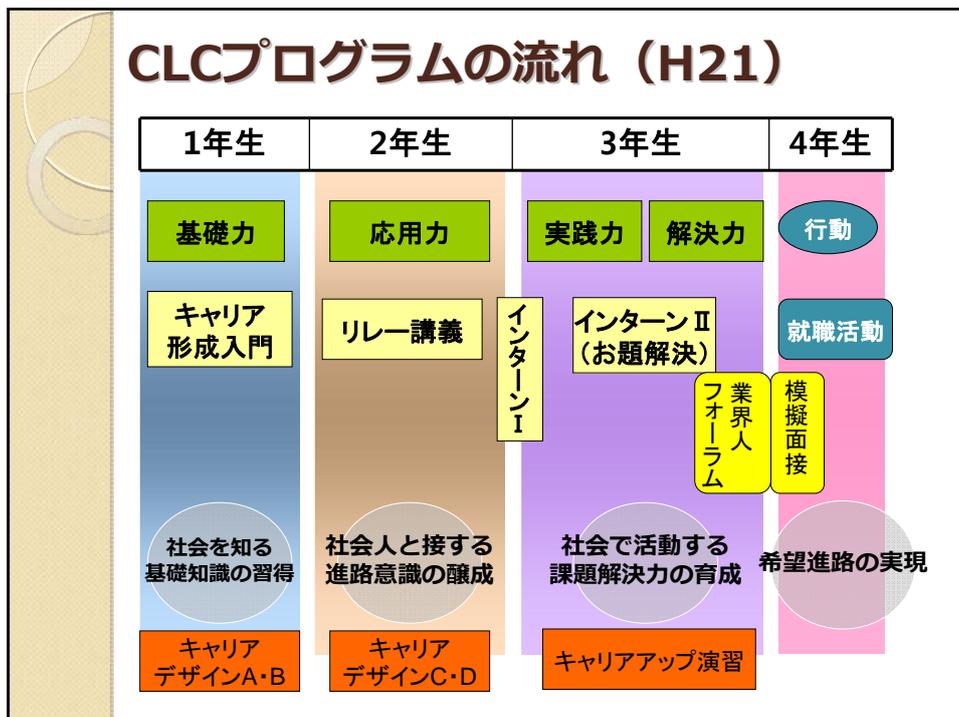
- (1) 地域交流をベースに地域の人材や課題を活用した地域志向型のキャリア教育
- (2) 学外での活動や学生の実践に基盤を置いた体験重視型のキャリア教育
- (3) 「近江商人三方よし」の精神を基に、指導に係わる人や団体のwin-winな関係を目指す双方向型のキャリア教育



## 本学の進路指導と支援の流れ



## CLCプログラムの流れ (H21)



## CLCの系統性 (H21)

1年 キャリア形成入門

2年 対談形式のリレー講義

2年(春休み) 地域インターンシップ

3年 お題解決プログラム

3年末~4年 就職活動

地域の懐の中で  
課題解決力を育成し、  
社会人基礎力を  
身に付ける

進路ガイダンス  
資格取得など

業界人フォーラム

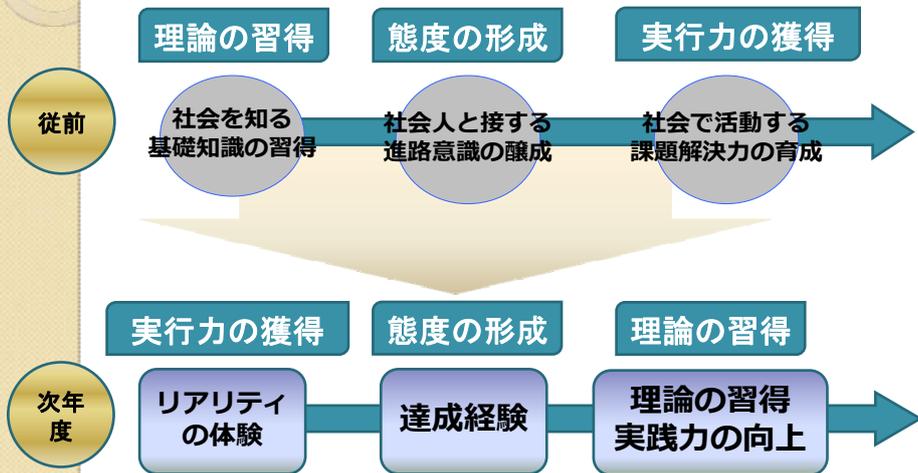
模擬面接

## 本年度の課題

- 社会に対するリアリティの欠如
  - ・ 学習が深まらない
  - ・ モチベーションがあがらない
- 自己効力感や自己実現力（意欲を具体化する力）の不足
- 従来の系統的なキャリア指導の行き詰まり（基礎知識 → 応用 → 実践）
- 企業(営利活動)という文脈と大学(教育活動)という文脈の違い

## 次年度への改善（1）

### ◆学習の枠組みの変更



## 次年度への改善（2）

### ◆キャリア教育のアウトソーシング

- (1) 授業を原則公開  
NPO等説明会・プレゼンテーション大会など
- (2) 地域の活動や企業の研修会などを活用
- (3) 地域の人材を活用
- (4) 学習の場を地域に
- (5) 互いにwin-winの関係を築く（三方よし）

## 次年度への改善（3）

### ◆NPOという選択

- (1) 豊富な社会経験が積める
- (2) 企業よりもハードルが低い
- (3) win-winの関係が構築しやすい
- (4) 教育という文脈との親和性が高い
- (5) 地域への訴求力がある
- (6) 就職活動に有利
- (7) 学生は趣味の延長で参加できる

## CLCプログラムの流れ（H22予定）



## CLCプログラムの波及効果

### ■多面的プログラム

- (1) 大学が発信するキャリア教育モデルの提案
- (2) 地元NPOの育成 = 地域の活性化
- (3) 地元産業の活性化
- (4) 地域文化の創造・継承
- (5) 学生の自主活動の創造
- (6) 学内の学習活動の活性化